

熊本県立芦北高等学校 令和元年度「学校安全総合支援事業」に係る防災教育公開授業学習指導案

- 1 題材名 安全なまちづくりへの参加
- 2 日時 令和元年11月8日(金) 5限(13時30分~14時20分)、6限(14時30分~15時00分)
- 3 生徒 3学年(3クラス)
- 4 場所 総合学習室
- 5 授業者 3学年職員(学年主任1人、担任3人、副担任3人)
- 6 カリキュラム・マネジメントの視点

生徒会活動↔ホームルーム活動「安全なまちづくりへの参加」↔公民「公共」

- 7 ねらい 地域防災の現状について理解し、安全なまちづくりへ向けた取組みについて考える。

8 展開

時間	学習内容 ★発問等	○教師の支援 ◎指導ポイント ◆評価
13:30	1 心のケアを受ける。 2 安全なまちについて考える。 ★災害に強い、安全なまちはどのようなまちだと思いますか。	○生徒の心身の状態に十分配慮する。〈手引を活用〉 ○過去の自然災害について知る(東日本大震災、九州北部豪雨、熊本地震) ◆自分たちの住む地域や学校周辺等の状況から、安全なまちはどのようなまちかを自然環境・ハード面・ソフト面について考えさせる。〈ワークシート〉
自分たちが住む地域を知り、安全なまちづくりのため、自分たちができることを考えよう		
13:40	3 地域ハザードについて考える。 ★ハザードマップと(資料)等の活用を知る。 ・芦北高校は、津波避難場所に指定されていることや特別警戒区域急傾斜地の崩壊、洪水浸水想定区域 1.0~2.0 未満区域であることなどを知る。	○地域の自然環境、ハード面の整備状況、ソフト面の定着状況それぞれについて現状が把握できやすいように、ハザードマップなどの資料を活用する 〈芦北町の防災マップを活用〉 ◎自然環境やハード面の状況についてハザードマップの見方に関する視点を示す。 ◎ソフト面においては熊本地震の経験からも、普段から地域の人の関わりについての視点を持たせる。
14:50	4 安全なまちづくりのために自分たちができることについて考える。 ★住む地域の状況を踏まえ、安全なまちづくりのために自分たちができることについて考えましょう。 (1) 個人で考える (2) グループで深める (3) 全体で交流する	○自分たちが地域の安全のためにできることについて考えられるよう、他県の中高生の取組み等を紹介。 ○ハード面等の課題については関係機関に提案できることを伝える。 ◆地域の状況から、安全なまちづくりのために自分たちができることについて考える。〈ワークシート〉
14:10	5 防災クイズ ①食料は何日分必要か? ②どのような食料を準備するか?	◆防災クイズを行い、個人でできる防災について考える。 〈ワークシート〉 ○食料の必要性やその他日用品で必要なものを示す。
14:15	6 まとめをする。	◎今日考えたことを意識して生活することが、防災意識を高めるとともに、共助や公助の意識にもつながることを理解させる。
14:30	7 各クラスで学習を振り返る。	○生徒の心身の状態に十分配慮する。